

「個人情報漏洩問題」 シリーズその②

セキュリティ番号変更の理由を会社は 隠蔽していた事実発覚

皆さん!! こんな会社を信用出来ますか?

会社は、9月3日10時以降、突然、東海、西日本エリア新大阪駅周辺の入出口、各詰所のセキュリティ番号の変更、テンキーの増設等を増設しました。職場では突然の変更について駅管理者に「何故、急に変更になったのか。理由を教えて欲しい」の質問に対して、「通常の定期的な変更である」「今回の個人情報漏洩問題とは関係ない」と回答し、新大阪駅で実施されている全社員を対象にした個人面談でも全く、変更の理由を明らかにせず、意図的に隠蔽しました。

営業の社員のみならず、直接業務に影響のある東海の乗務員職場の社員に対しても3日午前10時以降に順次変更する事実をなんと2日15時まで乗務員に周知することなく、急遽変更されています。同じく、関係する西日本会社は、関係する労働組合、社員に対して「データが一部漏洩したために番号を変更する」として、理解を求め、各位に協力を要請している。我が社ではまったく、そのような対応は無く、私達、東海労が支社人事に変更の理由を追及し、初めて、「今回の漏洩でデータが流失した可能性もあり、変更することにした」と見解を述べている。まさに、労働組合の軽視のみならず、職場の社員をバカにした姿勢である。社員の軽微なミスに対しては、管理者の罵声と恫喝、時系列等報告書を強要しているのが、職場の「命令と服従」の実態ではないのか。

自らの重大なミスに対しては、当該管理者に対する個人の責任追及で、問題の集結をはかり、社員に対する事実の隠蔽で乗り切ろうとする会社の姿勢は絶対に許すことは出来ない。駅で実施された個人面談では、漏洩した社員の個人情報「氏名、住所、電話番号、生年月日、最寄り駅である」と弁解していますが **皆さん!!こんな会社を信用出来ますか?** 本当にそのような情報だけなら、対象になる社員全員に漏洩した個人情報を開示するのが常識ではないのか!! **会社は早急に情報を開示せよ!!**

J R 東海労新幹線関西地本は関西支社に対して、今回の漏洩問題に対して緊急の申し入れを実施しています

